

第6学年 外国語学習指導案

日 時：令和4年10月27日（木）第5校時

場 所：総合学習室、会議室

指導者：

1. 単元名 Unit 5 「We all live on the Earth.」

2. 単元の目標

- ・地球に暮らす生き物について考えるために、それらの生き物どうしのつながりなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝えたりすることができる。
- ・環境などについて考えて、世界と日本の文化に対する理解を深めることができる。
- ・地球に暮らす生き物について、例文を参考に文を読んだり、書いたりすることができる。

3. 指導の立場

(1) 教材について

本単元の学習指導要領との関わりは、次の通りである。

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
話すこと〔発表〕	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

本単元では、地球に暮らす生き物の生態について、英語を通じて考えていく活動である。地球に住む生き物がどんな地域に生息し、何を食べているのかについて音声で聞き取ったり、知っていることや調べたことを基に仲間とやりとりしたりする中で、地球に住む生き物のつながりについて考えていく。4年生では、総合的な学習の時間で岩手川の生き物について学習し、自分たちにできることを考え、発信してきている。今回は世界に目を向け、単元終末で絶滅危惧種など環境について、今までに学習してきた **I can**～、**I want to**～、や気持ちを表す表現を使い、これからの自分にできることを仲間と伝え合う場を設定する。

本時は、地球に暮らす生き物に関するやりとりを通して、それらの生き物の生息地や食べ物などについて質問したり、伝えたりすることをねらいとする。グループで順番に自分の興味をもった生き物を選択し、選択した生き物について考えてきた仲間とやりとりを行う活動を設定する。生息地や食べ物にプラスして、自分の聞きたいことや知りたいことを仲間に質問していく。そのために、本時までには、自分で調べた生き物の生息地や食べ物、その生き物のできることや特徴、自分が伝えたいことなどについて調べたり考えたりする。本時では、質問されたことを既習の表現を使って即興的に答えられるようにしていきたい。

(2) 児童の実態

仲間と楽しみながらコミュニケーションしようとする児童も見られるが、英語表現の間違いを恐れ、積極的に話すことに抵抗感がある児童もいる。これまで単位時間の導入では、**Small talk** で単元に使用する表現に親しんだり、**ALT** とデモンストレーションを行ってから交流活動に入ったりすることで、活動に見通しをもって取り組む児童が増えてきた。交流活動では、伝えたいけれど言い方が分からない表現があった際には、進んで仲間や教師に聞いたり、タブレットで英単語や英語表現を調べたりと主体的に学ぶ姿も増えてきた。また、ペア交流からグループ交流へと広げ、少しずつステップアップしていくことで、自信をもって交流する児童が増えてきた。本時はさらに他校の児童へと交流の幅を広げていき、主体的に交流できる活動を位置付けていく。

これまで、外国語科だけでなく、他教科でも府中小と岩手小でのオンライン交流を積み重ねてきた。本時は、同じ進度で学習する府中小学校6年生と少人数グループをつくり、オンラインで地球に暮らす生き物の生態について交流活動を行う。府中小学校6年生とコミュニケーションすることを通して、主体的に活動したり、来年度中学校で共に活動する仲間との関係を深めたりしていきたい。さらに相手意識をもつことで、仲間とのコミュニケーション能力を高めていきたいと考えている。

4. 研究との関わり

研究テーマ
言語活動を通して、「学ぶ喜び」を実感しながら主体的にコミュニケーションを図る児童の育成

I：同じ進度で学ぶ府中小6年生との言語活動を設定することは、主体的にコミュニケーションを図る児童を育てる上で有効ではないか。

〔相手意識〕 同じ進度で学習する6年生

〔目的意識〕 地球に暮らす生き物についてコミュニケーションする。

〔場面意識〕 地球に暮らす生き物に関するやりとりを通して、それらの生き物の生息地や食べ物などについて質問したり、伝えたりする。

〔方法意識〕 Teams のオンラインで府中小と少人数グループで交流する。

〔評価意識〕 単位時間で観点別と記述での振り返りを行う。

単元導入時に5つの意識を示し、出口を明確に示すことで、児童が見通しをもって活動に取り組めるようにしていく。そうすることで、児童のより伝えたいという思いが高まり、主体的に活動できると考える。

II：観点別と記述の視点を明確にした振り返りは、児童が学ぶ喜びを実感する上で有効ではないか。

単位時間では、既習内容を生かし、本時の活動の見通しをもつ場と、見通しを基に自らの学びを振り返る場を位置付ける。本時では、導入時に生き物の生息地や食べ物などについて交流する上で、仲間に伝えたいこと、また自分が知りたいことを即興的に質問(『+1イングリッシュ』)することを伝え、それについての振り返りをする。また、記述では、自分の学びの振り返り、仲間のよさや頑張り、次時に生かしていきたいことを振り返る。毎時間自己を改善していくための評価をしていくことで、学ぶ喜びを実感しながら活動に取り組めると考える。

5. 単元指導計画と評価計画(全8時)

	目標	主な活動	評価の観点
第1時	生き物の暮らしについてのやり取りのおおよその内容を捉えることができる。	生き物に関するクイズを聞いて分かったことや気付いたことをワークシートに書き込み、伝え合う。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 生き物の暮らしについてのやり取りのおおよその内容を捉えようとしている。
第2時	生き物の暮らしについてのやり取りのおおよその内容を理解することができる。	生き物の暮らしについてのやり取りのおおよその内容を理解する。	〔知識・技能〕 Where do ~live? / ~live in.../What do ~eat?/ ~eat... およびその関連語句などについて理解している。
第3時	地球の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかについてたずね合うことができる。	地球の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかについて、音声で聞き取ったり、それを参考にしてペアでたずね合ったりする。	〔思考・判断・表現〕 地球の生き物について簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合っている。 (行動観察・振り返りカード)
第4時	地球の生き物がどこで暮らし、何を食べているのかについてたずね合うことができる。	自分の興味をもった生き物がどこで暮らし、何を食べているのかについて、調べてきたことを基にペアで質問したり、伝え合ったりする。	〔知識・技能〕 自分の興味をもった生き物について、Where do ~live? / ~live in.../What do ~eat?/ ~eat... を用いてお互いの情報を伝え合う技能を身に付けている。 (行動観察・振り返りカード)

第5時	自分の選択した生き物の「できること」や「様子」を加えて伝えることができる。	自分の選択した生き物の「できること」や「様子」を加えて、質問したり、伝え合ったりする。	〔思考・判断・表現〕 地球の生き物について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)
第6時	グループで自分の選択した生き物について発表することができる。	グループで自分の選択した生き物について発表する。	〔思考・判断・表現〕 地球の生き物について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)
第7時 (本時)	地球に暮らす生き物に関するやりとりを通して、それらの生き物の生息地や食べ物などについて質問したり、伝えたりすることができる。	地球に暮らす生き物に関するやりとりを通して、それらの生き物の生息地や食べ物などについて府中小6年生にオンラインで質問したり、伝えたりする。	〔思考・判断・表現〕 地球の生き物について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)
第8時	絶滅危惧種や環境などについて考えて、世界と日本の文化に対する理解を深め、自分の考えを伝えることができる。	絶滅危惧種や環境などについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 絶滅危惧種や環境などについて、自分たちにできることを考え、伝え合おうとしている。(行動観察・振り返りカード)

※「読むこと」「書くこと」の評価は継続的に行っていく。

English Plan 6年 Unit 5-7 <単元名> We all live on the Earth.

1.本時の目標	地球に暮らす生き物に関するやりとりを通して、それらの生き物の生息地や食べ物などについて質問したり、伝えたりすることができる。	
2.準備	タブレット (Teams)、生き物調査のメモ、振り返りカード	
3.英語表現等	Where do ~live? / ~live in... / What do ~eat? / ~eat...	
4.評価規準	地球の生き物について簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考えなどを伝え合っている。(思考・判断・表現) 話すこと [発表]	
5.指導過程	Student	HRT
1.Greeting	・挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・府中小児童も一緒に本時の課題を確認し、本時の活動の見通しをもてるようにする。 ・伝える側、質問する側それぞれが意識すべきポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・画面の相手を見る ・間をとる ・ジェスチャーを使う </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価の視点】 自分の生き物についての住んでいる場所や食べるもの、その生き物の食べるものを適切な表現を使って伝えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流の様子を見届け、既習の表現を使って質問したり、相手の話をよく聞いて反応したりしている児童を価値付ける。 ・分からない表現があってもジェスチャーや知っている表現を使って相手に伝えようとしている児童を価値付ける。 ・表現につまずいている児童には、ピクチャー・ディクショナリーで単語を確認したり、タブレットで表現を調べたりしてもよいことを伝える。また、一緒に発音をして確かめる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価の視点】 仲間の生き物に対して、自分の知りたいことを既習の表現を使って質問している。また、質問したことに対して適切に答えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の生き物に対して、詳しく知ろうと進んで質問している姿や生き物のことについての話を聞いて自分の考えや思い「I want to ~. I can ~. I like ~.」などを付け加えて話ができている姿を広める。 ・質問に困っている児童には、質問の例を示し、その中から選択できるように促す。 </div>
2.Song	♪ We all live together.	
3.chant	Sea turtles, sea turtles, where do you live?	
4.Aim	自分の選んだ生き物について、伝え合おう。	
5.Try	・岩手小と府中小の少人数グループに分かれて、Teams で順番に交流する。	
	<p>A&B: Hello. (1枚にまとめた生き物の写真を、互に見せ合う。)</p> <p>A: My turn. Polar bears please. B: OK. (その生き物について調べた人が挙手などで反応する。)</p> <p>A: Where do polar bears live? B: Polar bears live in the sea water.</p> <p>A: Oh, I see. What do polar bears eat? B: Polar bears eat seal.</p> <p>A: I see. What do seal eat? B: Seal eat fish.</p> <p>A: OK. C: What can polar bears do? B: Polar bears can swim well.</p> <p>D: How many years can polar bears live? B: About 25 years. The weather is warm. So polar bears are declining. Let's save polar bears. Thank you. (次の人に交代する)</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・質問する側 (A) と聞いているグループの仲間 (C) (D) は、聞きたいことや知りたいことをこれまでの英語表現を使って1, 2つ質問する。 ・伝える側 (B) は、その生き物のできること、様子、特徴などを1つ以上伝える。 	
	6.Treasure	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。(自分の学び、仲間のよさ、次取り入れたことなど) ・振り返りの交流をする。
	7.Greeting	・挨拶をする。